



栃木県議会議員
野澤和一

御幸町にお住まいのみなさまへ

かず いち

のざわ和一からのご報告

のざわ和一は、県民の安全安心のため、近年、相次ぐ自然災害への対応や、福祉の充実、地域経済活性化のために全力で取り組んで参りました。県民の皆様からの声を大切にし、県でできることは県議会を通し訴え、国レベルの事は国會議員と連携し要請してきました。これからも、「栃木から全国へ希望と元気を！」をモットーに、地元の皆様のご期待に応えて参ります。

ご報告

1月24日、長年の懸案だった、国道4号線・御幸町交差点の右折信号機設置が完了しました。



御幸町交差点 右折信号機を設置完了

これまで御幸町交差点は、時差式信号のため、利用する住民の方々より、帰宅時に右折がしにくく交差点内に取り残され、怖い思いをしているとの声を多く受けっていました。

そこで現状を現地にて調査し、住民の方々からヒヤリングを実施し、帰宅時の北進右折車両が交差点内に取り残される現状を把握しました。

2018年7月3日、栃木県警察本部にて、警察本部長宛に700数十名の署名を添えて要望書を提出しました。

その後、県警察の詳細調査を経て、今回、念願だった信号機の改良・右折信号機設置に至りました。

今後も、安全確保のため、地域住民の皆様の声を頂き、取り組んでまいります。



平成29年 7月 3日
御幸町の危険な交差点を改善する市民の会

国道4号線は、宇都宮市中心部を南北に走る主要な動脈で、交通量が多いことから、地域住民の生活利便性の良さと人気の観点となっています。特に、通勤時間の短縮は、地域の活性化や産業活性化を可能にしており、交通事故による負担も軽減されています。一方で、右折車両が交差点内に取り残される現象が発生し、帰宅する車両が交差点で止まることでストップしているのです。また、歩行者や自転車、駐車車両、停車車両など、他の車両との競合が問題となっています。本文書は、危険な交差点（宇都宮市道）から、国道4号線への止まりや利便性確保をめざしています。

そこで、地域住民の日常生活の安全と利便向上対策のため、以下の点を要望致します。

要望事項

- 時差式信号システムから「右折优先信号」に変更すること
- 交差点内に「左曲」、待合位置に設けることを
- 停止距離及び停止禁止区域のライバーカー導入を強化すること
- 交差点内に舗装（既存舗装）から、国道4号線への止まりや利便性確保をめざしています。

以上、地域住民の署名を添え、要望致します。

要望書

県警察本部長宛に要望書・署名簿提出

県民相談連絡先

県議会議員 のざわ和一
〒321-0112 宇都宮市屋板町1510番7
<http://nozawa-kazuichi.com>

TEL FAX 028-678-6873
MOBILE 080-2250-8024

